

僕は 2017 年から、岩手県大槌町で捕まえた生き物の観察を行っています。でも今年は新型コロナウイルス感染症のため、いつもの様に長く滞在して大槌町の生き物調査ができませんでした。

そのため今年は、毎年行っている岩手県大槌町の生き物調査に加えて、宮城県気仙沼市の生き物調査、さらに岩手県の生き物、高山植物、鍾乳洞の生き物など、人がいない屋外で、ソーシャルディスタンスを保って調査を行いました。

2017 年から去年までの生き物の観察記録も、よかったら見てください。

8 月 8 日、府中を出発して宮城県気仙沼市へ到着しました。気温が低かったのでカブトムシハンターの下見に出かけました。場所は気仙沼の神社です。去年、この場所でミヤマクワガタのメスを捕まえました。オスの死骸もありました。

途中で虫がたくさん集まっている場所を見つけました。カブトムシ、クワガタは光に集まってきます。でも LED の光にはあつまってきません。今回は、なんと大型のハロゲンライトが点いている場所を見つけました。ここは期待できそうだと思います。



このニホンジカは角が生えているのでオスだ



ニジマスはむかし外国からやってきた魚

8月9日、今日の天気は雨でした。岩手県遠野市へ向かいました。目的は遠野にいう河童を釣るためです。河童の前に、ニジマスを釣りました。あたりはあるのですが、最初はなかなか釣れませんでした。魚のあたりに合わせるのが難しいので、エサを飲ませる釣り方に変えたら次々釣ることができました。ニジマスを4匹釣りました。

山道でキジと鹿を見つけました。キジはとてもカラフルで大きい鳥でした。鹿は木の枝に足が引っかかっていました。でも近づくときっと暴れてけがをさせてしまうので、そのままそっと離れました。結局河童は釣れませんでした。



カヤックを漕いで、無人のビーチへ向かった



オスのカブトムシを捕まえるのは簡単なことではない

8月10日、今日は気仙沼大島へ向かいました。大島の海水浴場からカヤックで誰もいない砂浜へ向かいました。明日から毎年調査している吉里吉里の海の水中撮影をするので、カメラの防水性とカヤックのテストのためです。磯でムール貝（シュウリ貝）と岩ガキをみつけることができました。

夜は気仙沼市の山道へ向かいました。8/8の下見で虫がたくさん集まっていた場所です。カブトムシのオス1匹、カブトムシのメス1匹、ノコギリクワガタのメス1匹を捕まえました。



海底にはウニがたくさんいた



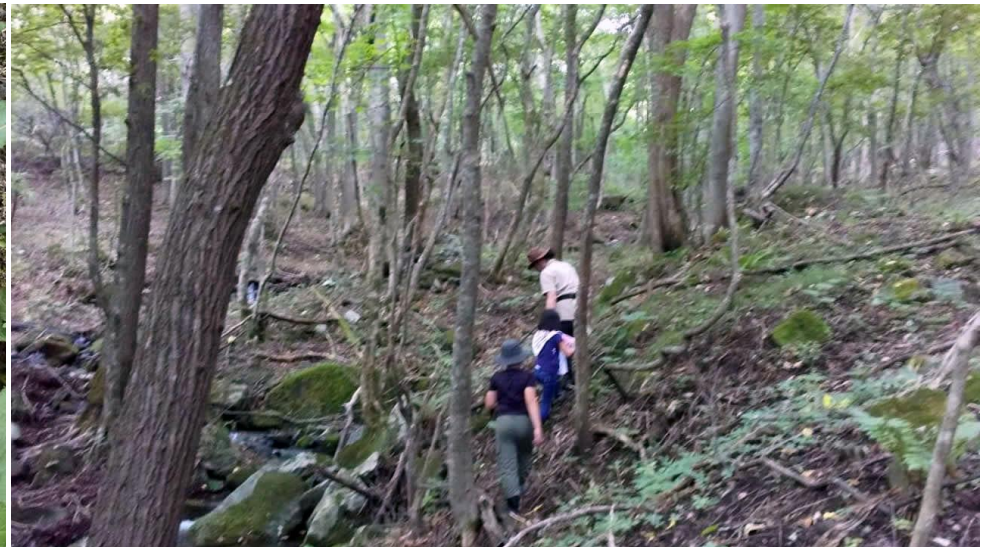
この誰もいないビーチは泳がないとたどり着けない

8月11日、岩手県大槌町の吉里吉里の海で水中撮影を行いました。海中でウニ、ウミウシ、小魚、メカブなど、生き物を観察しました。この海の調査は3年行っていて、毎年海底の様子と生き物が変わるので面白いです。

夜は大槌町の山道でカブトムシを探しましたが、ほとんどの街灯がLEDに変わっていて、なにも捕まえることができませんでした。そこでハロゲンランプの街灯がある、大槌町大ヶ口へ向かいました。アカアシクワガタのメス、2匹を捕まえました。



今回、イワナはブドウ虫で釣った



昔、この山がある地域は地図に載っていなかった

8月12日、大槌町小槌の山へイワナを釣りに行きました。山奥のため危険な野生動物が沢山いるし、スズメバチに囲まれて車から降りられなかったり、とても注意が必要でした。釣りをしながら山奥へ進んで行く途中、岩陰で水を飲んでいる鹿に急に会ったりしました。もしクマやイノシシだったらとても危険でした。父と父の弟の叔父さんは、とても大きなナイフを持っていました。この山で24匹のイワナを釣ることができました。

午後は釜石市の根浜海岸へ向かいましたが、砂浜では生き物が見つけれませんでした。



クルマユリは高山帯から亜高山帯に咲く花



標高 2038mの岩手山は、大正 8 年に噴火した記録がある

8/13 岩手山の周辺の高山植物を見るため、岩手県八幡平市へ向かいました。地熱発電所や熱水泉、固まった溶岩を見ることができました。岩手山は火山ということがわかりました。

ホテルの 12 階の窓の外にトンボがたくさん飛んでいたのに驚きました。標高が高いホテルのさらに 12 階なので、とても高いはずです。トンボの飛行能力はすごいと思いました。高原なのできっとカブトムシがいると思いますが、ホテルの周りの照明は LED だけだったので、カブトムシ探しはできませんでした。



八幡平は標高1613mの山である



トリカブトは強い毒をもつ

8/14 今日は八幡平山頂へ向かいました。途中の湿地では沢山の高山植物を見ることができました。一度ガスに包まれ、雨に降られて、レストハウスへ引き返しましたが、二回目のチャレンジで山頂へ行くことができました。

標高1613mの八幡平は、クモの巣が全くありませんでした。標高が高いとクモは生きられないようです。ずっとウグイスが鳴いていましたが、雨が降る前になると鳴かなくなることを発見しました。人間にはわからないことを、きっと鳥とか虫は知っているようです。そのためあまり濡れずに下山できました。



安家洞はミニ探検コースでもハードモード



明かりは全くなく、這わないと進めない洞穴が多い

8/15 今日は岩手県岩泉町の龍泉洞と安家洞へ向かいました。龍泉洞と安家洞はどちらも鍾乳洞です。龍泉洞は日本三大鍾乳洞の一つで、安家洞は日本一長い洞窟で、総延長 23,702m です。

龍泉洞は、とても整備されていてライトがきれいでした。そして安家洞では、ヘルメットをかぶり、ライトをもって狭い穴を張って進む、洞窟探検をすることができました。アクションカメラで撮影ながら進みました。ミニ探検コースでも大変な洞窟でした。石灰岩の泥だらけになりました。今回は野生のコウモリを観察することは出来ませんでした。



カブトムシのメスは角がない



タヌキは甲虫を食べているのかもしれない

夜は、気仙沼に戻ってカブトムシを探しに行きました。カブトムシメス 3 匹を捕まえることができました。きがついたのですが、カブトムシがいる場所、いそうな場所には、必ずタヌキがいました。もしかするとカブトムシを食べているのかもしれません。出来ればカブトムシのオスは、残しておいてくれればいいなと思います。



オニヤンマは蝉を食べることもある



クルマトンボははねの先が黒い

8/16 八幡平で二泊した後、ベースを宮城県気仙沼へ戻して、岩手県一関市の室根山の頂上へ向かいました。

室根山は標高 894.7m の山です。なんと、室根山にはオニヤンマが沢山いました。室根山で、オニヤンマ、ムギワラトンボ、クルマトンボ、アゲハチョウ、バッタを捕まえました。牧場ではアブに追いかけられました。

午後は気仙沼市の小泉海水浴場へ向かいました。水が冷たくて気持ちよかったです。どうゆうわけか他の砂浜より海水がしょっぱくありません。明日はこの海の調査をしようと思います。



フグは自分の体を大きく見せて威嚇するため膨らむ



クワガタのメスは、産卵のためオスの足を切って体液を吸う

8/17 今日は気仙沼市の小泉海水浴場へ向かいました。砂浜には沢山の小さなエビのような生き物がいました。たまにちくっと噛まれます。ヒメスナホリムシです。小泉海水浴場の砂を掘るとたくさん出てきます。そして魚を捕まえたらなんとフグでした。こんなところにフグがいるとは思わなかったので、とてもおどろきました。

夜は今年の夏、最後のカブトムシハンターにでかけました。あと沢山捕まえたカブトムシとクワガタをにがしにいました。

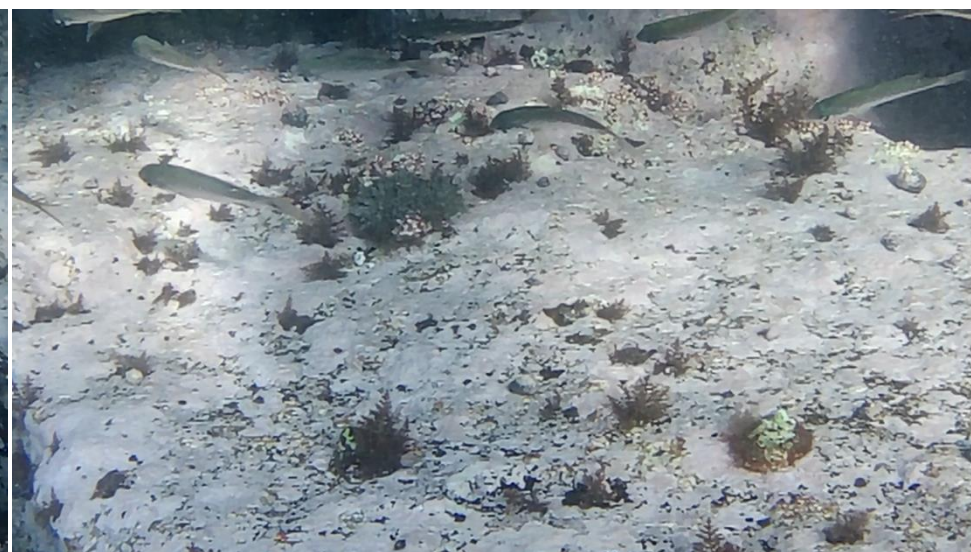
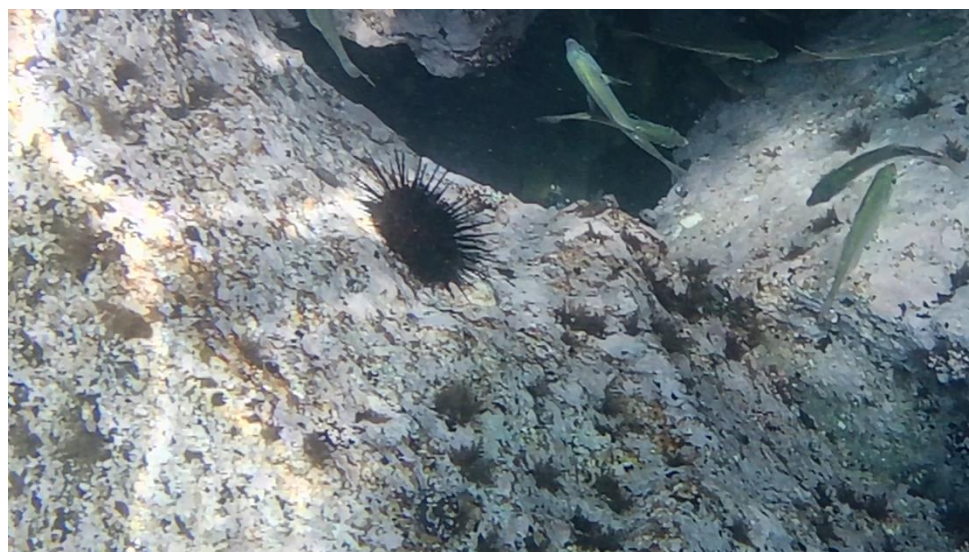
そうしたらなんと！ノコギリクワガタのオスがハロゲン球の電柱にとまっていた！今年のカブトムシハンター最終日のプレゼントだと思いました。

パパが崖を登って、棒でノコギリクワガタをおとしたとおもいました。僕は下で待ち受けていました。僕はノコギリクワガタが落ちたと思うところをさがしました。ところが、いくら探しても見つかりませんでした。しばらく草の中をさがしましたが、見つかりませんでした。僕は悔しくてないてしまいました。

でも僕は今年ノコギリクワガタのオスがいる場所を見つけました。来年こそ捕まえたいです。この日はほかにノコギリクワガタのメス2匹をみつけましたが、次の日は東京に戻るなのでそのままにしておきました。今年のカブトムシ、クワガタの捕獲数は11匹で、1匹にがしてしまいました。来年こそつかまえようとおもいます。

大槌町吉里吉里の水中撮影動画

砂浜にも海底にも魚がたくさんいました。魚は去年より大きくて、数が多かったです。メカブ、アメフラシ、アカザラガイなど、去年はいなかった生物を見つけました。東日本大震災の6年後から観察していますが、真っ白な砂だけだった海底に、だんだん生物が増えていっています。





無人の砂浜と漂流物

どちらもカヤックでしか行けないビーチですが、岩手県の大槌町吉里吉里の無人の砂浜は、去年まであったシーグラスが無くなっていました。もとは東日本大震災のガラスだったそうです。宮城県気仙沼大島の砂浜には、木材や魚を捕まえる網などの漂着物がたくさんありました。



イワナ釣りの撮影動画

イワナは薄暗い山奥の沢にいる魚です。虫でもカエルでも蛇でもなんでも食べます。イワナがいる場所は山奥なのでモバイルの電波が届きません。連絡のためトランシーバーを持って行きました。釣ったイワナは、炭火で焼いておいしくいただきました。



八幡平の山頂と湿地帯、高山植物

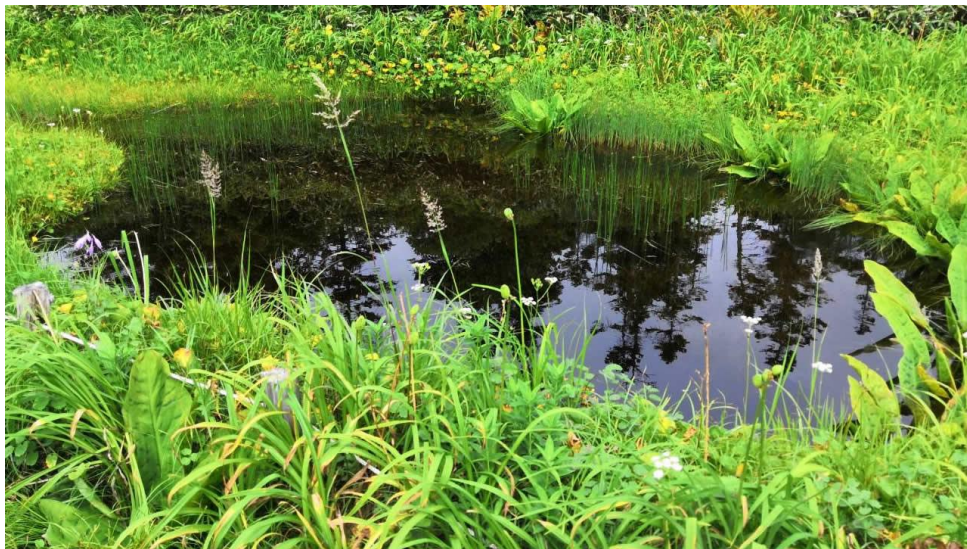
八幡平の山頂と湿地には高山植物がたくさんありました。

標高が高い場所にはユリがたくさん咲いていました。

霧の中の山頂付近にはきれいな沼がいくつかありました。

大昔の火山の噴火口が沼になったそうです。山の天気はと

ても変化が早くて驚きました。





安家洞の撮影動画と機材

観光コースは照明がありますが、探検コースには明かりがないので、カブトムシ用の高ルーメン LED ライトを持って行きました。アクションカメラはレンズが小さいので、暗い洞窟ではきれいな映像が撮影できませんでした。8時間探検コースに参加したいと思っています。



龍泉洞の撮影動画

日本三大鍾乳洞の龍泉洞は深い地底湖がありました。今回は龍泉洞の天然記念物のコウモリを観察することはできませんでした。とても整備されて歩きやすいです。ライトアップされた鍾乳洞はきれいだと思います。でも僕は真っ暗な安家洞のほうがすごかったと思いました。



別紙 室根山と昆虫写真

室根山の山頂のトンボは、ほとんどがオニヤンマでびっくりしました。アゲハ蝶、クロアゲハもたくさん飛んでいました。ここのアゲハ蝶はオニヤンマに追いつくほど飛ぶのが早いのです。調べてみると東京のアゲハとは違う種類、キアゲハでした。



参考 大槌の生き物の研究 2 0 1 7

参考 大槌の生き物の研究 2 0 1 8

参考 大槌の生き物の研究 2 0 1 9